

令和3年3月30日

泉北環境整備施設組合
管理者 阪口 伸六 様

泉北環境整備施設組合プロポーザル審査委員会
(資源化センター運営維持管理業務委託事業者選定)
委員長 石川 宗孝

泉北環境整備施設組合資源化センター運営維持管理業務委託に係る事業者選定公募型
プロポーザル審査結果について

標記の件について、受託候補者を選定しましたので、選定委員会の審査結果及び講評
を報告します。

I 審査結果

受託候補者 : 株式会社日本管財環境サービス

審査項目\提案受付番号	B
見積価格以外の得点	316.2
見積価格の得点	180.0
合計点	496.2
最低評価点数	390.0
審査項目	受託候補者

II 講評

受託候補者に特定された株式会社日本管財環境サービスの提案は、数多く同種施設
や類似施設の運転管理を行ってきた事業者ならではの、施設の事故防止や安定した処
理、資源化の向上等経験や実績を活用したもので、さらに本件施設の運転管理を行っ
てきた実務経験を踏まえた提案でありました。

運転管理体制においては、大幅なごみの変動等にも今まで以上に的確に対応できる
体制づくりや、現場の対応だけではなくグループ全体でのバックアップ体制の構築、
実務経験が豊富な総括責任者の配置など、受入業務、維持管理業務については、実績
を生かした、本件施設の特性や搬入資源物を理解したうえでの提案となっており、大
変魅力的なものでした。また、雇用について、地元雇用や職員への採用や教育育成にも

積極的な姿勢などは高評価であります。

本件施設の機械設備については、適切な保守及び整備を行う必要がありその趣旨を理解し、QRタグを使用した点検システムの導入により、写真や動画及び機械の異常等を「気づき」として登録でき、異常に対し迅速で的確な対応が可能となることで施設の維持管理において大変有効であると評価いたします。

さらに、搬入された資源物については、ビン・缶類及びプラ容器類それぞれ、定められたヤードに受入・貯留し、季節毎、曜日毎により大きく変動することや、不測の故障時等において通常より長く貯留する場合も懸念されることから、受入ヤードの運用方法を一時的に変更して対応する提案において、安全で安定した受入れにつながるものと期待します。

ヒアリングにおいて、事業継続実施や組合への協力体制等、高い熱意が感じられるものであり、特に地元市民の雇用や各種感染症対策の実施とともに、同種・類似施設の運転管理を数多く実施してきた経験を生かした、提案を約束していただいたことも高評価で、本事業を継続して実施していく上で期待できる提案でありました。

ただ、見積金額においてはこれまでの実績を踏まえても予想以上に高額と見受けられることから、組合構成市の負担金も考慮し、価格交渉を行っていただきたいと思えます。

今回、受託候補者に特定された事業者には、業務の実施について組合と十分な協議を行い、今回の審査に携わった委員の意見を反映して業務を進めて頂くことを希望します。

III 審査の経過

審査の経過は下表の通りです。

審査の過程

日 程	内 容
令和2年	
11月18日	第1回選定委員会
令和3年	
1月14日	募集要項等の公表
1月19日	募集要項等への質疑受付締切
1月22日	募集要項等への質疑回答
1月29日	参加表明書の受付締切
2月 8日	参加資格確認の通知発送
3月 5日	提案書の提出期限
3月29日	第2回選定委員会（ヒアリング、最終審査）

以上